

イトマキボラ

分類：新腹足目 イトマキボラ科(腹足綱)

学名：*Fasciolaria trapezium*

英名：Banded tulip shell

全世界の温帯から熱帯にかけての水深20～40m位のところに生息する。殻は中型で水管はやや短く、肉厚堅固、螺塔は円錐形で結節がある。体層肩部はコブ状に隆起する。殻表は褐色の薄い皮におおわれ平滑。殻は卵形で殻縁は濃褐色。外唇内壁は横縞の糸状のヒダがある。同属のチューリップボラ(*F. tulipa*)は殻表は濃褐色で体層中央がやや膨み、殻口から下方が一方にねじれた紡錘形で殻口は長卵形で大きく開く。外唇内壁には細い横縞のヒダが見られる。



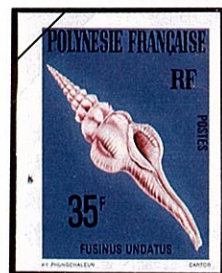
ペテンツノマタ
Latirus filiosus



イトマキボラ



イトマキボラ



ミガキナカニシ
Fusinus undatus similis



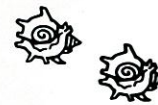
チューリップボラ



チューリップボラ
F. tulipa



チューリップボラ



ガンセキボラ

分類：新腹足目 アクキガイ科(腹足綱)

学名：*Murex burunneus*

英名：Adustus murex

太平洋の温帯から熱帯海域にかけて分布し、干潮線から10cm位の浅い岩礁地帯に生息する。殻は5cm位、螺塔は低く体層は褐色の地に濃褐色の細い帯模様があって牙状の突起は肩部で最も長い、そのほかはやや短く、別名スミゾメガンセキと呼ばれる如く、濃黒褐色の牙状の突起は鮮かである。殻口縁は淡紅色に彩られ、同属のダイオウガンセキ(*M. regins*)はメキシコ湾からペルーにかけて分布し、殻の大きさは15cm位の大型種で、殻は灰白色で体層成長線上の牙状突起は可成り鋭く、殻口縁は鮮明なピンク色で、産出は少い。



クダモノツブリ
M. pomum



コガンセキ
M. penchinati
(印面の *M. ramosus* は同属の誤り)



ブラジルハッキガイ
M. tenuivaricosus



ナンカイセンジュモドキ
M. steerias



ギネアツブリ
M. hoplites



ガンセキボラ